

第3学年 体育科学習指導案

2組 計28人(男子15人,女子13人)

指導者 池水 大介

1 単元 みんなでつくろう!セストボール(ゴール型ゲーム)

2 単元の目標

ボールを持ったときにゴールに体を向け、パスかシュートを選択できるとともに、パスやシュートがしやすいように空いている場所に素早く動くことができる。【技能】
「みんなが楽しめるセストボールをつくりたい」「ルールやコートの工夫を生かしてゲームに勝ちたい」などの願いをもって進んで運動に取り組んだり、規則を守り勝敗を素直に受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりしながら練習やゲームに挑戦することができる。【態度】
みんながもっと楽しめるようにルールやコートを工夫したり、その工夫を生かして勝つための簡単な作戦を考えたりすることができる。【思考・判断】

3 単元について

(1) 単元の価値

これまで子どもたちは、「楽しもう!わたしたちのシュートゲーム」の学習を通して、場やコート、ルールの工夫を行いながら、投げる、捕るといった技能を高め、得点し合って勝敗を競うゲームの楽しさを味わってきている。そして、自分たちに合った場やコート、ルールを工夫して、「クラスみんなで楽しめるゲームをつくりたい」「シュートをたくさん決めて勝ちたい」などの欲求をもっている。

そこで、ここでは一人一人がシュートを決めてゲームを楽しむことができるように、ルールやコートの工夫を行っていく。その中で、パスやシュート、空いている場所を見つけて素早く動くといった技能を高め、簡単な作戦を考えたり選択したりしながら得点し合って勝敗を競うゴール型ゲームの楽しさを味わっていくものである。

この学習は、クラスみんなが楽しめるルール(得点化)や簡単な作戦などを工夫しながらゲームをする楽しさを味わう「みんなで楽しもう!セストボール」の学習へと生かされていく。

【2年 楽しもう!わたしたちのシュートゲーム】
的(大きさ・重さ・数)
場(円の大きさ・コート)
ルール(得点化)

【3年 みんなでつくろう!セストボール】
ルール(運営面)
コート(円の大きさ・ゴールの高さ・位置)

【4年 みんなで楽しもう!セストボール】
ルール(得点化)
コート(広さ・円の大きさ)

【「学び」の重点内容及び教材】

(2) 運動の特性と教材について

「セストボール」の楽しさは、360度からシュートが可能なゴールに向かってパスでボールを運び、シュートを決めて勝敗を競い合うところにある。また、ドリブルを用いないので、ボール操作は易しく、ボールを持たないときの動きを工夫しながらみんなで協力してボールを運ぶ楽しさを味わうことができる運動である。

第3学年にとっての「セストボール」は、「勝ちたい」「シュートを決めたい」といった一人一人の願いをもとに自分たちに合ったルールやコートを工夫しながら、クラスみんなが楽しめるゲームをつくっていくことができる運動である。また、ゲームを行う中で、パスやシュート、空いている場所へ素早く動くといった技能を高めることができる。そして、全員がシュートを決めて勝敗を競い合う楽しさを味わうことができる運動である。

(3) 本単元における「学び」を見つめ、「学び」を生かす子どもの姿

本単元では、試しのゲームを行う中で、前学年の「学び」を想起する場を設け、「みんなが楽しめるセストボールをつくりたい」という願いをもち、ルールやコートを工夫していくという課題をつかむことができるようにする。そして、ゲームを進めていく中で、クラスみんなが楽しむためのルールやコートを工夫・発見していく。さらに、その工夫を生かして勝つための方法を見出したりゲームに生かしたりしながら、「セストボール」の楽しさを味わい深めていく子どもの姿を目指すものである。

(4) 子どもの実態（平成 21 年 9 月 18 日実施）

項 目	回 答（対象 28 人，数字は人数）							
1 シュートゲームへの興味・関心	・好き(23) ・どちらかといえば好き(3) ・どちらかといえば嫌い(1) ・嫌い(1)							
理 由	シュートが決まったときうれしい(9) パスをたくさん回す(8) みんなで攻めたり守ったりするのが楽しい(4) ルールを工夫できる(2) 体を動かすのが気持ちいい(1) 試合に勝つとうれしい(1) ゴールが高くてシュートが入りにくい(2) ボールがこわい(1)							
2 単元のめあて（複数回答）	・シュートをたくさん決める(14) ・パスをたくさん回す(5) ・作戦を工夫して勝ちたい(3) ・ルールを工夫して楽しむ(2) ・コート工夫して楽しむ(2) ・ボールにたくさんさわる(2)							
3 みんなが楽しめるルール・コートの工夫（複数回答）	・ゴールの高さを工夫する(11) ・コートの広さを工夫する(6) ・点数を工夫する(7) ・全員にパスを回す(5) ・秒以内にパスやシュートをする(3) ・ボールを持って 歩まで歩ける(2)							
4 山なりのシュート		7		9		8		4
5 3mパス（投）		8		12		5		3
6 3mパス（捕）		5		9		11		3

セストボールへの興味・関心については、「シュートが決まったときうれしい」「みんなでパスをつないで攻めていくのが楽しい」「ルールを工夫して楽しむことができる」などの理由から、好きだと答えている子どもが多い。しかし、「ゴールが高くてシュートが入りにくい」「ボールがこわい」などの理由で、嫌いと答えている子どももいる。単元のめあてについては、シュートを決めたりパスを回したりして楽しむことや、ルールやコート、作戦を工夫しながらクラスみんなで楽しめるセストボールをつくっていきたいという願いをもっていることが分かる。コートについては、シュートやパスの機会が増えみんながもっと楽しめるように、ゴールの高さやコートの広さに関する工夫を挙げている。ルールについては、得点に関する工夫や、ボール保持の秒数や歩数制限などに関する工夫を挙げている。シュートやパスの技能については、特にパスを受ける技能についての個人差が大きいことが分かる。

4 指導に当たって（研究の視点との関連）

【指導過程】

「つかむ」過程では、試しのゲームを行ったり、2年生でのシュートゲームの経験を想起する場を設けたりすることで、「ルールやコートを工夫しながら、みんなが楽しめるセストボールをつくっていこう」という共通課題を設定する。

のびのびタイムでは、「シュートゲーム」や「トライアングルパスゲーム」などを行うことで、素早くパスを回したりシュートしたりする技能を高めることができるようにする。

チームタイムでは、前のゲームの結果や原因を振り返ったり、「3対2セストボール」などを練習に取り入れたりすることで、新しいルールやコートの工夫を生かすための動き方や攻め方を、次のゲームに生かすことができるようにする。

【場・コート，ルール，作戦】

「挑戦する」の過程では、「ゴールの高さ」「ゴールエリアの広さ」などのコートの工夫や、「歩数制限」「ボール所持時間制限」などのルールの工夫を行うことで、全員がボールに触れたりシュートを決めたりすることができるようにするとともに、みんなが楽しめるゲームの行い方を知ることができるようにする。

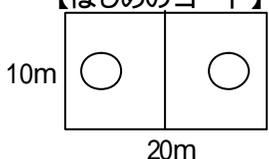
「挑戦する」の過程では、「全員シュートボーナス」「女子シュートボーナス」など得点化の工夫を行ったり、簡単な作戦を選んだり工夫したりすることで、全員がセストボールの楽しさをより味わうことができるようにする。

子どもたちが、工夫・発見したコートやルールを掲示しておくことで、ルールやコートについての話合いに活用したり、子どもたちが、ルールやコートを確認したりすることができるようにする。

【評価活動】

「ルールやコートの工夫を生かしてゲームに勝つことができたか」と視点を明確にして前のゲームの結果とその原因を振り返ることで、次のゲームに生かすことができるようにする。

5 指導計画(全11時間)

時間	1・2	3・4・5・6	7・8・9(本時)	10・11
過程	つかむ	挑戦する	挑戦する	たしかめる
活動の流れ	<p>試しのゲームに挑戦して、めあてをたてよう。</p> <p>1 前年度の「学び」の想起 2 学習の進め方 単元の流れ 3 学習の約束の確認 4 のびのびタイム 5 試しのゲーム ・1チーム5人・リーグ戦 ・ドッジボールを使用</p> <p>【はじめのルール】 ・ドリブルなし ・ゴール1得点 ・ゴールエリアには入れない ・ボールを持っている人の体は触れない ・試合時間4分</p> <p>6 振り返り() 7 単元のめあて</p> <p>【はじめのコート】</p> 	<p>クラスみんなが楽しめるセストボールをつくらう。</p>		<p>セストボール大会を開こう。</p> <p>1 大会の進め方 総当たり戦 リーグ戦 トーナメント戦</p> <p>2 ルール・コートの選択</p> <p>3 作戦の選択</p> <p>4 単元全体の振り返り ・単元全体を振り返り、自他の伸びを実感する。</p>
	<p>みんなが楽しめるコートやルールの工夫を生かして、セストボールを楽しもう。</p> <p>1 めあての確認 2 準備運動・のびのびタイム</p> <p>【のびのびタイム】 シュートゲーム 対人パスゲーム 三角パスゲーム トライアングルパスゲーム グリッドパスゲーム</p> <p>3 ゲーム(リーグ戦) 4 チームタイム ・ゲームの振り返り(全体 チーム) ・コート工夫を生かして勝つための練習</p> <p>5 ゲーム(ゲームとは異なるチームと対戦) 6 整理運動 7 振り返り(チーム 全体)</p> <p>【コートの工夫】 ゴールの高さ・大きさ ゴールの位置 ゴールエリアの広さ コートの広さ・形</p> <p>【運営ルールの工夫】 ボールを持って歩ける歩数</p> <p>【作戦の工夫・選択】 一人待ち伏せ作戦 ゴール裏作戦 散らばり作戦 全員シュート作戦</p>	<p>みんながもっと楽しめるルールの工夫を生かして、セストボールを楽しもう。</p> <p>1 めあての確認 2 準備運動・のびのびタイム</p> <p>3 チームタイム ・前時のゲームの振り返り(チーム) ・ルールの工夫を生かして勝つための練習</p> <p>4 ゲーム(対抗戦) 5 チームタイム ・ゲームの振り返り(全体 チーム) ・ゲームに生かすための練習</p> <p>6 ゲーム(ゲームと同じチームと対戦) 7 整理運動 8 振り返り(チーム 全体)</p> <p>【ルール(得点化)の工夫】 同一プレイヤー連続シュート禁止 全員シュートボーナス 男子1点・女子2点</p> <p>ボール保持5秒以内</p>	<p>みんなが楽しくゲームを行うことができるコートやルールの工夫をすることができたか。(思・判)</p> <p>みんながもっと楽しくゲームを行うことができるルールの工夫や簡単な作戦を選んだり考えたりすることができたか。(思・判) 相手のいないところに動いてパスを受けたり、シュートしたりすることができたか。(技)</p>	
評価項目	「みんなが楽しめるセストボールをつくりたい」という願いをもち、試しのゲームに進んで取り組むことができたか。(態)	みんなが楽しくゲームを行うことができるコートやルールの工夫をすることができたか。(思・判)	みんながもっと楽しくゲームを行うことができるルールの工夫や簡単な作戦を選んだり考えたりすることができたか。(思・判) 相手のいないところに動いてパスを受けたり、シュートしたりすることができたか。(技)	学習したことを生かして、セストボール大会に進んで取り組むことができたか。(態)
評価法	ワークシートの振り返り 観察	ワークシートの振り返り 観察	ワークシートの振り返り 作戦ボード 観察	ワークシートの振り返り 観察

6 本 時 (9 / 1 1)

(1) 目 標

空いている場所に素早く動いてパスを受けたり、シュートをしたりすることができる。【技】
 「みんなで上手くパスをつないでシュートを決めたい」「ルール(得点化)を工夫して、みんながもっと楽しめるセストボールをつくりたい」という願いをもって、場や用具の安全に気を付けながら進んで練習やゲームに取り組むことができる。【態】
 みんなが楽しめるルールをゲームに生かして勝つために、簡単な作戦や練習方法を選んだり工夫したりすることができる。【思・判】

(2) 展 開 ○ 教師の言葉掛け ○ 子どもの反応 □ 重点評価項目 個に応じた指導

過程	主な学習活動と予想される子どもの反応・教師の言葉かけ	教 師 の 指 導
つかむ (12)	<p>今日はどんなルールの工夫をして楽しめますか。</p> <p>本時のめあてについて話し合う。 みんながもっと楽しめるルールの工夫を生かしてセストボールを楽しもう。</p> <p>もっとシュートをして楽しめるように、全員シュートボーナスのルールを工夫しよう。</p>	<p>「前の時間はどんなルールの工夫を生かしてセストボールを楽しんだかな。」と前時の学習を想起する発問を行うことで、本時のルールの工夫へと生かすことができるようにする。</p>
挑	<p>のびのびタイムで心も体もほぐそう。</p> <p>準備運動、のびのびタイムをする。</p> <p>シュートゲームの記録に挑戦するぞ。</p> <p>チームタイム ・前時のゲームの振り返り ・ルールの工夫を生かして勝つための練習</p> <p>みんながシュートを決めるように、パス&シュートを練習しよう。</p>	<p>「シュートゲーム」や「トライアングルパスゲーム」などをのびのびタイムで行うことで、楽しみながら、ボール操作や空いている場所を生かす動きを高めるようにする。</p>
戦	<p>ルールの工夫を生かせるようにチームで練習しよう。</p> <p>チームタイムを生かしてゲームに挑戦しよう。</p> <p>ゲームに挑戦する。</p> <p>全員がシュートを決めてボーナス点をもらおうぞ。</p>	<p>子どもたちがこれまで考えた作戦や練習方法を掲示しておくことで、新しいルールの工夫を生かすための練習や話し合いができるようにする。</p>
す	<p>全員シュートボーナスを生かすことができたかな。</p> <p>今日のルールを生かすための工夫について話し合う。</p> <p>全員シュートを成功させることができなかった。</p>	<p>ゲーム後の話し合いでは、「ルールの工夫を生かして勝つことができたか。」と問いかけることで、ゲームの結果とその原因を振り返ることができるようにする。</p>
る	<p>全員シュートボーナスを生かして勝つにはどうしたらいいかな。</p> <p>シュートを決めていない友達にパスを回して、全員がシュートできるようにしよう。</p> <p>チームタイム ・ゲームの振り返り ・ゲームに生かすための練習</p> <p>全員シュートボーナスをもらうための攻め方を工夫して、しっかり練習しよう。</p>	<p>ルールの工夫を上手く生かしていたチームの動きや作戦を価値付け、全体に紹介することで、チームタイムでの練習や次のゲームに生かすことができるようにする。</p>
(27)	<p>ゲームで勝てるようにチームで攻め方を話し合ったり練習したりしよう。</p> <p>チームタイムを生かしてゲームに挑戦しよう。</p> <p>ゲームに挑戦する。</p> <p>全員がシュートを決めてゲームに勝つぞ。</p>	<p>ルールを工夫した今日のセストボールは楽しかったかな。</p> <p>整理運動をする。</p>
たしかめる (6)	<p>チームタイムを生かしてゲームに挑戦しよう。</p> <p>ゲームに挑戦する。</p> <p>整理運動をする。</p> <p>本時の学習を振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>ルールを工夫して全員がシュートを決めて勝つことができました。</p>	<p>「空いている場所に動こう。」「パスを受けたら積極的にシュートをねらおう。」などの言葉かけを行い、意欲的にゲームに参加できるようにする。</p>
	<p>次はセストボール大会です。これまでの学習を生かして優勝できるようにがんばろう。</p> <p>本時の学習を振り返り、次時の学習に見通しや意欲をもつ。</p> <p>セストボール大会もこれまでの学習を生かしてがんばるぞ。みんながシュートを決めて、優勝するぞ。</p>	<p>「ルールを工夫を生かして勝つことができたか。」と視点を明確にした振り返りを行うことで、自分やチームの課題を次時に生かすことができるようにする。</p>